

児童クラブと子ども教室に関する取組事例 Case Study of After School Clubs and After School Child Classes

○山口佳奈子* 坂田寧代**
YAMAGUCHI Kanako, SAKATA Yasuyo

1. はじめに 放課後児童クラブや放課後子ども教室で子どもの集まる場をつくる国の制度がある。放課後児童クラブは保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校に就学している児童を対象に、遊びと生活の場を与える¹⁾。放課後子ども教室は地域の子どもの全般を対象とし、学習や様々な体験・交流活動の機会を提供する²⁾。こうした子どもの集まる場づくりが、農村地域では遅れている傾向にある。農村地域で子どもの集まる場をつくるために国の事業を推進することは重要だが、市町村が単独事業を用意することも有効だと考える。本報では、市町村の単独事業により児童の集まる場をつくる方法を明らかにすることを目的として、2015年7月～2017年3月に計14回行った現地調査をもとに新潟県長岡市山古志地区で市単独事業により実施されている児童クラブと子ども教室の取組事例を紹介する。

2. 児童クラブと子ども教室の設立経緯 山古志地区の児童クラブと子ども教室は山古志地区の総合型クラブという地域組織により運営されている。この総合型クラブは山古志地区の住民代表のKK氏（50代男性）を中心に設立された。KK氏は2004年新潟県中越地震をきっかけに、山古志地区の若者が地域の行事やイベント等の運営に関わる場をつくりたいと思い、総合型クラブの設立を提案した。その後、地域住民の協力を得て設立準備が進められ、2013年4月に設立された。総合型クラブの活動に参加した保護者や子育て経験者の間では、子どもの集まる場をつくりたいという話が出た。そのため2013、2014年の夏季休暇中の数日間のみ試験的に児童クラブを総合型クラブの活動拠点である山古志体育館で実施した。その結果、児童が集まる場を必要とすることがわかったため、山古志地区の住民同士で児童の集まる場づくりに向けた議論が進められた。これを受けて、長岡市が単独で「放課後の子どもの居場所づくり事業」（以下、「居場所づくり事業」という）を創設し、2015年4月から本格的に児童クラブが開設された。さらに、2015年6月から児童クラブと並行して子ども教室が実施された。これは「放課後子ども教室事業」（以下、「子ども教室事業」という）と「地域の宝磨き上げ事業」のうちの一つである「『宝の先生』発掘・活用事業」により実施される。いずれも市の単独事業である。児童クラブと子ども教室の概要を表1に示す。

3. 児童クラブの取組み 居場所づくり事業は、放課後、自宅に帰っても近所に遊ぶ友達がいない児童のための「集まる場所」と、放課後に保護者のいない児童のための「預かりの場所」をつくることを目的とする。児童クラブでは山古志体育館のホールや和室などを利用して宿題や室内遊びなどに取り組む。児童クラブの名簿登録者総数は2015年度が31名、2016年度が37名であり、この中には山古志小学校の全児童が含まれ、2015年度20名、2016年度22名だった。児童クラブの活動日誌をもとに一日の平均利用者数を算出すると、2015年

*新潟大学大学院自然科学研究科 Graduate School of Science and Technology, Niigata University,

**新潟大学自然科学系 Institute of Science and Technology, Niigata University,

キーワード：児童クラブ、子ども教室、新潟県中越地震

度は約 10 名、2016 年度は約 9 名だった。スタッフは児童の保護者のほか、児童と年齢の近い高校生や大学生の参加が多い。スタッフの費用は居場所づくり事業から支払われる一方、児童クラブを運営する総合型クラブの職員の費用は、児童クラブの業務時間のみ居場所づくり事業から出ており、それ以外は総合型地域スポーツクラブ活動助成事業などから出ている。

4. 子ども教室の取組み 子ども教室事業は、放課後や長期の休み等に安心・安全な居場所を設け、地域住民の参画を得ながら、心身ともに健やかに育つよう、学習やスポーツ、文化活動のほか、地域住民との交流活動を行うことを目的とする。子ども

も教室に参加するスタッフはみな意欲が高い。児童クラブと子ども教室のスタッフを受け持つ 60 代女性は、普段取り組まない多様な遊びや地域の伝統行事などを児童に伝えたいと思い、地域の草木を利用した水鉄砲づくりや盆踊り教室などに取り組んでいる。同氏と同様に児童クラブと子ども教室の両方を担当する 60 代男性は、児童が自らやりたいことを発見し挑戦する場をつくりたいと考え、笛教室を開催して笛の吹き方を教えている。児童の保護者の 50 代女性は、家では体験できない活動を地域住民から直接教えてもらうことに良さを感じている。

5. 市町村の単独事業により児童の集まる場をつくるための提案 国の放課後児童クラブの事業と比較すると、長岡市の居場所づくり事業は地区内の全児童を対象とするため、すべての児童が参加できる子どもの集まる場をつくることことができる。また国では放課後児童クラブと放課後子ども教室で事業の所管が異なるが、長岡市では居場所づくり事業と子ども教室事業の所管が同一であるため、児童クラブと子ども教室を一体的に実施しやすい。児童の集まる場をつくる方法として、地域の既存組織を利用することにより市町村が負担する費用を軽減し、なおかつ活動場所を確保することができる。スタッフは保護者が中心だが、子どもと関わる意欲のある地域住民や保育・教育関係者にも依頼する方法が挙げられる。

6. おわりに 長岡市山古志地区では、児童クラブの開設によって地域に住むすべての児童が集まり遊ぶことのできる場所が確保された。また、子ども教室では児童が近所に習い事に通う場をつくと同時に、地域の人材を活用して地域の伝統文化を児童に伝える場がつけられた。農村地域で児童の集まる場を整備する上で、市町村の単独事業により地域の現状に応じた児童の集まる場づくりを行うことが有効である。

謝辞：住民代表、総合型クラブの職員、スタッフと保護者の皆様に心から感謝を申し上げます。

引用文献 1) 厚生労働省：「放課後児童健全育成事業」の実施について、<http://www.mhlw.go.jp/>

2) 厚生労働省・文部科学省：放課後子どもプラン推進事業の実施について、<http://www.mhlw.go.jp/>

表1 児童クラブと子ども教室の概要^{注)}

Outline of after school clubs and after school child classes.

設立される場	児童クラブ	子ども教室	
事業名	放課後の子どもの居場所づくり事業	放課後子ども教室事業	「室の先生」発掘・活用事業
実施内容	宿題, 室内遊び	習い事や教室, イベント	伝統文化の継承
実施場所	原則, 山古志体育館。 必要に応じて近くの川や施設に向く。		
開設日時	【開設日】 平日(月～金) 長期休業・代休日 【開設時間】 平日 15:00～18:00 長期休業・代休日 9:00～18:00	【開設日】 平日(週1回) 長期休業・代休日 【開設時間】 平日 15:30～17:00 長期休業・代休日 10:00～11:30, 13:30～15:00	
登録人数	2015年度:31名 2016年度:37名	2015年度:31名 2016年度:37名	
スタッフ人数	2015年度:20名 2016年度:23名	2015年度:14名 2016年度:7名	

注)総合型クラブの職員への聞き取りと入手資料をもとに作成。